

2015 地域おこし協力隊が行く!

今年度から地域おこし協力隊は、新たに大塚省吾隊員と柴田学隊員の2人が加わり、栗田雅史隊員と菅谷光太郎隊員と合わせて4人となりました。今年度も金山での体験した活動、新しい魅力・発見を紹介します!



■今月の柴田隊員

あけましておめでとうございます。昨年は皆様のおかげで子育て支援、町内各地でのライブなどを中心に様々な活動に関わらせていただきました、改めて感謝いたします。本年も継続して行っていきますのでどうかよろしくお願いいたします。

さて本年の目標としまして、「町民の夢を叶える活動」も行っていきたいと考えております。私の力など微々たるものですが、それでも周りの方のお力添えをいただき出来る範囲で挑戦していただきたいと思っています。音楽やダンス、絵や物作りを人前で披露してみたい、CDを作りたい、こんな時間を過ごしてみたい、これを始めたい覚えたい：なんでも構いません!年齢性別も問いませんので、ダメ元で、金山町役場・地域おこし協力隊の柴田までお気軽にお声掛けいただければ光栄です。秘密も厳守いたします。



■今月の大塚隊員

11月7日(土)、かねやま絆の森の活動で山形ゼロックスの社員とそのご家族が来町されました。7月5日(日)に朴山の山林を下刈りした方達が主な参加者で、今回も私が同行しました。

山形市を朝出発した参加者の方達は金山町に到着後、マルコの蔵前で活動の説明を受けました。その後、三英クラフトが管理する山林へ移動してキノコ採りをしました。

今年は天候の影響でナメコが不作だったそうですが、植菌したシイタケや樹の高いところに生えているムキタケは長い枝を使ってかき落として、たくさんキノコを収穫することが出来ました。

黄色に色づいたカラマツ林のなか、参加者の皆さんは晩秋の金山を満喫していただけたようでした。

※キノコを採る際は食用出来るか不明なキノコは口にしないよう注意して下さい。